

# 患者のタイプ別

問診表をもとに問診のベースができたなら次は患者のタイプ別にアレンジしてみましよう。

## 沢山話す(書く)or 話さない

話す 不安だから？ 話好きだから？ 興味があるから？

話さない 面倒だから？ 緊張しているから？ 疲れているから？ あきらめているから？

患者の受け答えや問診表の状態から、今の患者の精神状態を見極めながら会話をしていく。  
常に心がけるのはラポール形成。

## ポジティブ (P) or ネガティブ (N)

未来思考か？ 過去思考か？

## 論理的 (L) or 感情的 (E)

結果重視か？ 過程重視か？

論理立てて話すか、共感しながら話すか

でタイプを分けて組み合わせる

PL → 理解して納得できれば安心  
論理的に改善のための話をする

NL → 不安だから理解したい 損をしたくない  
結果で実感してもらい理屈を説明する 「もったいないですよね」

PE → 認められたい ほめられたい 楽しみたい  
ほめる 「これが解るなんて凄いですね」 「〇〇できたら嬉しいですよね」

NE → 共感して欲しい 労って欲しい  
ほめても否定してくるのでほめない 労う  
「〇〇はつらいですよね」 「こんなになるまで頑張って大変でしたね」